

峡南教育事務所Newsletter



# かけはし

第197号

2025年5月発行

発行：峡南教育事務所  
教育支援スタッフ（地域教育担当）

南巨摩郡富士川町鯉沢771-2  
TEL:0556-22-8154  
FAX:0556-22-8144

HPからも御覧になれます。(QRコード)



南巨摩合同庁舎

## 目次:

峡南教育事務所長あいさつ	1
ことぶき勸学院 入学式・開講式 新採用教職員辞令交付式	2
富士川中学校開校式 道の駅 にじま和紙の里 かみすきパーク open 研究指定校・協力校	3
地推協・峡南教育事務所 共催講演会のお知らせ 峡南教育事務所 スタッフ紹介 峡南教育事務所より	4



今年は春先に気温の低い日が続いたせいか、桜の見頃が長続きし、各校の入学式にも桜が咲いていました。長く暑い夏が始まる前に、例年より少しだけ長く春を堪能できた気がします。今年度もよろしくお祈いします。

## 令和七年度 峡南教育事務所長 木内 寛 あいさつ



木内 寛 所長

学習指導要領が改訂されて久しくなります。国は、昨年末に次期学習指導要領の策定に向けて、中教審に諮問しており、改訂に向けた動向も気になるところです。

ところで、現行の学習指導要領は、十分に教育現場に浸透しているでしょうか？

そもそも学習指導要領は、各学校が編成・実施する教育課程の大綱的な基準として文部科学大臣が示すものです。現行の学

習指導要領は、子供たちが未来社会を切り拓く「生きる力」の育成を目指して、「資質・能力を三つの柱で整理し、社会に開かれた教育課程を実現しよう」としています。ここで三つに整理された資質・能力が、①「知識及び技能」、②「思考力、判断力、表現力等」、③「学びに向かう力、人間性等」です。実は、この柱にはそれぞれを修飾する枕があり、①「生きて働く知識及び技能」②「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等」③「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等」となります。これは、当然ですが、学習指導要領前文や令和の日本型学校教育で述べられる「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他

者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすること」にも合致します。

教育課程編成の主体はあくまでも学校です。つまり、学校は、学習指導要領を大綱的基準としながらも、単に、知り・考え・表す力を一方的に教えるのではなく、地域や学校、そして子供の実態を勘案し、自ら考え・実際に使いこなし・実生活に役立つ力を主体的に身に付けさせる必要があるということではないでしょうか。

さて、現行の学習指導要領は、十分に教育現場に浸透しているのでしょうか？

様々な背景を抱えたすべての子供を受け入れる公立学校は、どのようにして学習指導要領の主旨を具現化する教育課程を編成して実施していけばよいのでしょうか。

教育事務所は、学校・家庭・地域

社会と連携して、時代の要請に応じた取組を進めながら、学校教育や社会教育が充実するように指導・助言を行うことを役割としています。とりわけ、幼保・小・中・高と続く公教育のあるべき姿について、well-beingな未来社会を目指し、手を携えて参りたいと考えます。ぜひ、みなさまの声を届けてください。

事務所は、昨年度末の人事異動で、地域教育担当の主幹・指導主事と学校教育担当の指導主事の各一名が交代し、総務スタッフ一名が減員となりましたが、一人一人の顔が見える関係を大切にしながら、県の出先機関としての役割を果たしつつ、子供の未来を見据え、地域の声に耳を傾けて取組を進めて参ります。これからも変わらぬご支援をいただけますようお願いを申し上げます。本年度もどうぞよろしくお祈いいたします。



# ことぶき勸学院便り 令和七年度の始まり

## 令和七年度入学式

四月十五日(火)にYCC県民文化ホール・小ホールにおいて令和七年度「ことぶき勸学院」入学式が開催され、院長の荻野智夫、教育長から、百五十二名の新入生に入学が許可されました。式では、県下の一・二年生が一堂に会し、県保健福祉部理事・若月衛様をはじめ多数の来賓をお迎えし、盛大に実施することができました。式では、荻野学院長は「少子高齢化の流れが加速している今、学ぶ意欲を持ち、本勸学院の理念である「社会貢献」に賛同くださっている皆さんこそ、社会の重要な戦力である」と述べられ、また百歳を超えるまで現役を続けられた聖路加国際病院名誉院長・日野原重明医師の「私に余生はありませぬ」という言葉を引用され、「生涯現役」「一生青春」の精神をもって、



積極的に仲間や先生方と交流を深め、人の輪を広げ、人生をさらに豊かにしていただきたい」と新入生にエールを送られました。また、峡南教室の二年生の高倉昭二さんが学院学生代表として歓迎のあいさつを述べられました。入学式後には、県内在住の落語家で、多方面に活躍されている三枝亭二郎さん、講師を迎え、講演会が行われました。自己紹介を枕に、「お年寄り同士の結婚」という斬新な話題を披露され、その軽妙な語り口に笑いが絶えず、とても楽しい講演会になりました。



今村弘樹先生

**令和七年度 峡南教室担当紹介**  
今年度も引き続き、今村弘樹先生が担当します。前職は身延中学校の校長先生です。今年度もよろしく願っています。

る機会となることを願っております」と励ましの言葉が贈られ、本年度一年生で一番の入学申込をされた加藤正藏さんが誓いの言葉を述べられました。開講式終了後の学級会で、学級役員や班の役割を決定し、学級委員長には佐野保仁さんが決まりました。今年度は十三名と人数が多い一年生ですが、終始、和やかな雰囲気、学級会における役員選出や係決めもスムーズに進みました。

## 二年生開講式

今年度、二年生は十三名が進級となりました。式では、木内所長より励ましの言葉をいただき、二年生の学級長である高倉昭二さんが「様々な講座から知識を得て、新たな発見をしていきたい」と代表の挨拶をしました。開講式後の学級会では、アイスブレイクとして、競争奪のトップテン・ブラックジャックが行われ、大変盛り上がりしました。元気で楽しく活動を行い、来年の三月には全員で卒業を迎えられるように、ぜひ皆様には頑張ってください。



の重要な戦力である」と述べられ、また百歳を超えるまで現役を続けられた聖路加国際病院名誉院長・日野原重明医師の「私に余生はありませぬ」という言葉を引用され、「生涯現役」「一生青春」の精神をもって、

## 一年生 開講式

新入生三十三名を迎え、開講式が行われました。木内所長より「本学院での活動が、楽しみとなり、学びの広がりと同時に人と人のつながりをさらに豊かなものにしていただ



今年度、二年生は十三名が進級となりました。式では、木内所長より励ましの言葉をいただき、二年生の学級長である高倉昭二さんが「様々な講座から知識を得て、新たな発見をしていきたい」と代表の挨拶をしました。開講式後の学級会では、アイスブレイクとして、競争奪のトップテン・ブラックジャックが行われ、大変盛り上がりしました。元気で楽しく活動を行い、来年の三月には全員で卒業を迎えられるように、ぜひ皆様には頑張ってください。



## 令和七年度 新採用教職員辞令交付式

四月一日(火)に南巨摩合同庁舎三階大会議室にて、小・中学校新採用教職員の辞令交付式が行われました。新採用教職員十三名(小学校教諭九名・中学校教諭三名・栄養教諭一名)を代表して、上野小学校の向井あづ希教諭が県教育長代理の木内所長より辞令を交付され、三珠中学校の川口紫音教諭が緊張した面持ちで服務の宣誓を行いました。本年度より、この十三名が峡南地域の学校における新しい力となつて、\*VCUAと言われる変化の激しい時代の中で、若さと情熱を持って地域の未来を担う子どもたちの教育に当たります。日々、子供たちとともに笑顔で元気に過ごせるように頑張ってください。応援しています。



\*VCUA(ヴーカ)とは…  
Volatility:変動性、Uncertainty:不確実性、  
Complexity:複雑性、Ambiguity:曖昧性の  
4つの単語の頭文字をとった造語です。

### 富士川中学校 開校式

#### 新たな学校のはじまり

富士川町の増穂中学校と蹴沢中学校が統合し、新たに富士川中学校が誕生しました。その開校式が、四月七日(月)に富士川中学校体育館で行われました。式には第二、三年生の生徒や学校関係者が出席しました。式では、望月利樹町長が開校宣言を行い、続けて「第一期生として、誇りと希望を持ち、笑顔あふれる学校を作ってほしい」と祝辞を述べられました。

その後、樋口和仁教育長から小池剛校長に校章が付された真新しい校旗が手渡されました。



校章は三月に増穂中学校を卒業した生徒による考案で、町の花「桜」、町の木「柚子」、町の鳥「鳩」を基にデザインされています。式は終始厳粛な雰囲気で行われ、参加した二、三年生は少し緊張した面持ちで臨んでいました。

陽光に照らされ桜の花が美しく咲く、とても春らしい日に、富士川中学校という新たな学校の歴史のページが、まさにここから始まることを強く感じさせるような素晴らしい開校式となりました。



### 道の駅にしじま和紙の里 かみすきパーク リニューアルオープン

四月十八日(金)に、「道の駅にしじま和紙の里 かみすきパーク」が改修を終え、リニューアルオープンしました。新しい施設は、伝統的な和紙漉き体験ができる「かみすき館」、イベントや企画展示などが行われる交流スペースを備えた「ふれあい館」、郷土料理や地域の食材を使ったメニューなどが楽しめるカフェとレストランの「たべもの館」の三つの建物と、芝生が敷き詰められた「みんなの広場」の四つのエリアで構成されています。

「かみすき館」内では、四五〇年以上の間、受け継がれてきた西嶋和紙についてその成り立ちを学べる展示だけでなく、来場者が実際に紙漉きを行える体験室や様々な西嶋和紙を選んで墨のにじみの違いなどを体験できる、畳敷きの書道スペースなどがあり、実際に体験することを通じて、西嶋和紙について深く知ることができるよう工夫されています。

オープン初日には身延町のゆるキャラ・みのワンも登場し、来場者と楽しげに写真を撮る姿も見られました。

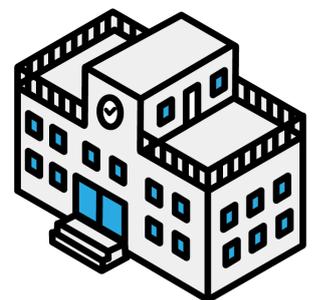
子どもも、大人も楽しめる体験型のテーマパークとして、峡南地域だけでなく、県内外の多くの方々に利用され、伝統工芸の西嶋和紙の素晴らしさが広く知れ渡ることを期待したいと思います。



## 令和7年度 峡南地区 研究指定校・協力校

	事業名	期間	推進校
継続	連携型中高一貫教育推進事業〈県〉	H31~	身延中学校 南部中学校 身延高校
	生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業<日本学校歯科医会>	R7~8	大塚小学校
新規	道徳教育研究推進事業 <国>	R7~8	市川中学校
	初任者研修授業研修会実習校〈県〉	R7	増穂小学校 南部中学校

文部科学省、県教育委員会等の研究指定を受けて教育活動に取り組んでいる管内の小・中・高等学校を紹介します。



 <p>令和7年度 峡南地域教育推進連絡協議会・峡南教育事務所 共催</p> <h2>講演会のお知らせ</h2> <p>※感染症等の状況により、中止・延期・オンライン開催等の可能性があります。</p>	<p>【講演会峡南地域人権講演会】</p> <p>7月4日(金) 14:40～ @身延町総合文化会館</p> <p>「こどものミカタ ～こどもの味方になりたい、私の見方～」</p> <p>中央児童相談所 相談支援第一課リーダー 芦沢 茂喜 氏</p>
<p>【峡南地域教育フォーラム】</p> <p>8月20日(水) 14:00～ @身延町総合文化会館</p> <p>「人と夢を売ろう」</p> <p>北杜市ひまわり市場 代表取締役 那波 秀和 氏</p>	<p>【峡南地域異校種連携・子育て学習会】</p> <p>11月14日(金) 14:00～ @市川三郷町生涯学習センター</p> <p>「子どもたちの「安全基地」をめざして ～多様なニーズを持つ子どもたちへの理解と支援～」</p> <p>県教育庁特別支援教育・児童生徒支援課 指導主事 小林 ゆかり 氏</p>

# 令和7年度 峡南教育事務所スタッフ紹介

本年度は**2名**の新しいメンバーを迎えました。「総務・教育支援（地域教育担当・学校教育担当）」のスタッフで峡南地域の教育を支援します。どうぞよろしくお願ひします。

<p>アドバンス ティチャー</p> <p>熊谷 正</p> <p>経験三年以内の教員の資質向上のため、訪問指導を行います。</p>	<p>教育支援スタッフ (学校教育担当)</p> <p>岡部 美登志 有泉 満 池川 良樹 <span style="color:red">新</span></p> <p>学校訪問での指導・助言、教職員の研修・研究会や教育相談に関すること、教科書採択事務の指導・助言、学校保健・給食・安全指導など、学校教育に関わる多くのことを担当しています。</p>	<p>所長 木内 寛 次長 林 美保</p> <p>事務所のすべてを統括する二人です。</p>
<p>スクールソーシャルワーカー(SSW)</p> <p>飯田 勝也 中野 良男</p> <p>学校訪問、児童生徒・保護者・教職員の支援・相談・情報提供を行っています。</p>	<p>(地域教育担当)</p> <p>宮澤 研 角田 恵一 <span style="color:red">新</span></p> <p>学校や町教育委員会と連携して、地域教育・社会教育・生涯学習の支援をしたり、「かけはし」の発行をしたりしています。</p>	<p>総務スタッフ</p> <p>三井 徹也 長久保 将 望月 由美</p> <p>教職員の給与や旅費各種手当に関することを担当しています。</p>

## 峡南教育事務所より

☆「地域教育推進活動事業一覧」について  
「峡南地区『地域教育推進活動』に係る関係各機関の施策・事業年間計画一覧は峡南教育事務所のウェブサイト (<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>) に掲載しています。ご協力いただいた事業所の方々、ありがとうございました。なお、各行事は感染症等の状況により延期・中止の場合もありますので、事前にご確認ください。

☆情報提供のお願い  
地域教育情報誌「かけはし」は社会教育と地域教育の充実と発展に貢献することが目的です。地域での交流行事や、社会教育・生涯学習に関する取組や行事等をご紹介ください。今年度もぜひご愛読をお願いします。 TEL 0556-22-8154 (担当：角田)